

意見交換会

場所：議場(大木町役場 3階)



全員、緊張した表情で議場に入ると、自分の議席番号を探して着席しました。だいが緊張もほぐれ、笑顔も出てきます。



みんな積極的に手を上げて発言しました。とても活気ある意見交換会になりました。



議場は神聖な場所であり、入るときも出るときも一礼をします。最後にみんなで集合写真を撮りました。



昨年6月に公職選挙法が改正され、「十八歳選挙権」が本年の参議院議員総選挙から適用されることになり、義務教育の小・中学生にも、近い将来、選挙権が与えられます。自ら主権者になることに興味・関心を持ち、大木町民として将来のまちづくり活性化を推進していくための教育につなげるため、副議長と小・中学生との意見交換会を開催しました。

小・中学生の皆さんには、

- ① 大木町の好きなところ・
- ② この町に誇りに思うところ
- ③ この町に作ってもらいたいもの
- ④ この町に取組んでもらいたいもの
- ⑤ この町に残して欲しいもの

以上の5項目に答えてもらいました。本会議さながらにスタートした交換会では、積極的に発言する皆さんの姿に頼もしさを感じました。

皆さんの意見の中で多かったのが、大木町の環境への取組みが素晴らしいこと、堀クリニックの大切さをみんなが理解しており、将来に残して欲しいこと、また、年齢に関係なく参加できる大木町の行事やイベントを増やしてほしいとの要望も多くありました。

私たち大人とは違った、子どもたちの目線での意見は、とても新鮮で、非常に参考になりました。

意見交換会の中で子どもたちの要望に対して、平山教育長にも答弁をいただいたり、とても貴重な時間となりました。

今回の皆さんの意見を議会としても今後の活動の一環として活かしていきたいと思えます。ありがとうございます。